

## 【水の里の旅コンテスト 2020 応募企画】

### 【学生部門】

大原学園 東京ホテル・トラベル学院専門学校 F班

『水と自然を楽しむ休日弾丸ツアー  
～自然豊かな奇居・長瀬へ～』

(観光地域：埼玉県 奇居・長瀬)

【日程】	日帰り		
【実施時期】	夏		
【催行人員】	2名 (最少催行人員： 2名)	【お勧めする旅行者層】	首都圏在住の学生、家族
【旅行代金】	A又はBコースのみ5,700円 全コース9,000円 (各料金大人1名)	【内 訳】	
		ライン下り1,800円～3,300円 電車代1,900円(往復込み) お昼代約2,000円 ライン下り A、Bコース1,800円 全コース(A+Bコース)3,300円	
【企画趣旨 (伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
<p>この企画は、暑い夏を水のアクティビティと緑豊かな自然で涼しくなってもらえるようにというコンセプトで企画しました。奇居・長瀬は都心からのアクセスが良好で、手軽に自然豊かな風景を楽しむことができます。また、途中の奇居駅では、都心では見ることが出来ない歴史あるSLを間近で見ることができます。</p> <p>長瀬の荒川は、人と水との関わりの歴史が古く、平安時代から洪水や氾濫などで数多くの命が奪われるなどの記録が存在しています。荒川はその名前のおり「荒ぶる川」と呼ばれ、後世にも語り継がれてきました。一方で6月～8月上旬にかけては、水のきれいな場所でしか生息できないゲンジボタルやヘイケボタルなどが生息するなど、豊かな生態系を作り出しています。</p> <p>今回の企画のハイライトでもある荒川を和舟で下る「長瀬ラインくだり」では、途中で鉄道橋の下も通ります。お昼ご飯はレストラン「丹一」で、荒川の鮎を使った料理を堪能できます。</p>			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
<p>長瀬ラインくだりは身長60cm未満のお子様はご乗船できません。ライフジャケットを着用します。</p> <p>また荒川の水量にもよりますが、洋服等濡れる場合もありますので、ご注意ください。靴下とズボンの替えがあると安心です。</p>		<p>ラインくだりでは、コースを選ぶことができAコースは急流を下る波の荒いコースが中心で、Bコースは流れが緩やかな長瀬の自然を堪能することができます。</p>	
【催行実績】	無		

【 行 程 表 】	
9 : 1 0	東武東上線池袋駅で急行小川町行きに乗車
1 0 : 2 0	小川町駅到着後、1 0 : 2 2 発寄居行きに乗り換え
1 0 : 4 1	寄居駅到着後、1 1 : 0 0 発秩父鉄道パレオエクスプレス号に乗り換え
1 1 : 2 6	長瀬駅到着
1 2 : 0 0	昼食（レストラン丹一）
1 4 : 0 0	長瀬ラインくだり
	以後自由時間（お土産等をお買い求めいただけます）
	長瀬駅から池袋駅へ（最終列車は2 1 : 3 2）

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など） 】		
【 パレオエクスプレス号 】	【 長瀬の川 】	【 岩畳 】
 <p>【コメント】 今回の企画では寄居駅から長瀬駅まで「SL パレオエクスプレス号」に乗車します。 追加料金は不要で乗車可能です。 （所要時間約 30 分）</p>	 <p>【コメント】 長瀬の荒川です。 長瀬ラインくだりはここで楽しめます。 途中、A コースでは鉄橋の下を通ります。 運が良ければ SL を見れるかも？</p>	 <p>【コメント】 自然も綺麗ですが、岩畳も絶景です。 岩畳は結晶片岩が荒川の流れによって侵食されてできた河成段丘です。断層の動きで岩石が砕かれ、本来あるはずの川原の礫（れき）に覆われておらず、岩盤がむき出しになっています。</p>
【 長瀬駅 】	【 荒川橋梁 】	【 長瀬ラインくだり 】
 <p>【コメント】 長瀬駅は開業当時のままの見た目を維持しており、関東の駅百選に指定されています。 おみやげに秩父独特の「すまんじゅう」や岩畳商店街に売っている甘納豆などがおススメです。</p>	 <p>【コメント】 長瀬には鉄道撮影にも絶好のポイントがあります。タイミングが合えば SNS 映えする写真が撮れます。 （ジオパーク秩父より画像引用）</p>	 <p>A コースです。（花のおもてなし長生館より引用）</p>
		 <p>B コースです。（ニッポン旅マガジンより引用）</p>